

ツクルバ 2024年7月期 第2四半期決算を発表 売上高・売上総利益ともに伸長し、営業損益を大幅に改善

当社は、本日 2024年3月15日、2024年7月期 第2四半期を発表しました。詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

*

以下プレスリリース

■2024年7月期 第2四半期連結業績ハイライトおよび今後の見込み

株式会社ツクルバは 2024年7月期 第2四半期決算を発表し、四半期売上高は 892 百万円(前年同期比+20%)、売上総利益は 596 百万円(前年同期比+9%)と伸長、営業損益については前年同期比+76 百万円と期初方針通り大幅に改善しました。

通期連結業績予想の進捗率については、最終的に通期業績予想を上方修正した前期と比較し、同水準で推移しており、期初想定の着地を見込みます。

なお、当期においては、「全社生産性の向上」を最注力課題として掲げており、当四半期にはテクノロジー投資を行い営業支援システムのアップデートを実施しました。今後も、営業プロセスおよびマネジメント体制のさらなる改善を通じた営業生産性、そして全社生産性の向上に注力します。

(注1)2023年7月期以前は連結会計を行っていないため、前年比較においては単体会計の数値を参照しています。

(注2)2023年11月1日付の不動産企画デザイン事業の譲渡完了を踏まえ、売上高および売上総利益の前年比較はカウカモ事業のみの数値を参照しています。

ハイライト

当四半期は売上高・売上総利益ともに伸長し、営業損益を大幅に改善しました。上半期の進捗は順調であり、通期連結業績予想の達成を見込みます。

2024年7月期
第2四半期連結業績
(2023年11月～2024年1月)

売上高・売上総利益ともに不動産企画デザイン事業の譲渡の影響を受けつつも伸長。
期初方針通り、営業損益を大幅に改善 (詳細はP6を参照)

売上高 ^{*1}	892 百万円 (前年同期比 ^{*2} +8%、調整後 ^{*2,3} +20%)
売上総利益 ^{*1}	596 百万円 (前年同期比 ^{*2} +5%、調整後 ^{*2,3} +9%)
営業利益	△12 百万円 (前年同期比 ^{*2} +76百万円)

<カウカモ事業KPI^{*4}>

GMV	12,833 百万円 (前年同期比 ^{*2} +13%)
テイクレート	4.7 % (前年同期比 ^{*2} △4%)

■2024年7月期 通期連結業績予想

上半期の伸長は順調であり、足元における業績の推移も堅調であることから、引き続き通期連結業績予想の達成を見込みます。

2024年7月期 通期連結業績予想

上半期の進捗は順調であり、引き続き通期連結業績予想の達成を見込む

売上高	5,200 百万円	(前年比 ^{*2} +25%、調整後 ^{*2,3} +35%)
売上総利益	2,800~3,000 百万円	(前年比 ^{*2} +11~19%、調整後 ^{*2,3} +15~23%)
営業利益	150 百万円	(前年比 ^{*2} +282百万円)

■詳細のご案内

詳細は、当社 IR ページ掲載の資料をご確認ください。

<https://tsukuruba.com/ir>

<株式会社ツクルバ 会社概要>

やがて文化になる事業をつくり続ける場の発明カンパニー。「『場の発明』を通じて欲しい未来をつくる」というミッションのもと、デザイン・ビジネス・テクノロジーをかけあわせた場の発明を行っています。

<https://tsukuruba.com/>

会社名:株式会社ツクルバ(東証グロース 証券コード:2978)

所在地:東京都渋谷区恵比寿 4-3-14 恵比寿 SSビル 7F

設立:2011年8月

代表者:代表取締役 CEO 村上 浩輝

事業内容:中古・リノベーション住宅のマーケットプレイス型の流通プラットフォーム「cowcamo(カウカモ)」(<https://cowcamo.jp/>)の企画・開発・運営、家売りしたい人と買いたい人のマッチングサービス「ウルカモ」(<https://cowcamo.jp/urucamo>)の企画・開発・運営など